

病虫害発生予察注意報第 1 号

令和 4 年 4 月 21 日
三重県病虫害防除所

1. 対象作物 : ムギ類
2. 対象病虫害名 : 赤かび病
3. 発生地域 : 県内全域
4. 発生時期 : 5月上旬以降(感染は、4月中旬以降)
5. 発生量 : やや多
6. 注意報発令の根拠
 - 1) 本年のコムギの出穂期は平年並からやや早く、伊勢平坦部で4月中旬以降開花が始まっています。
 - 2) コムギの開花始めに当たる4月中旬は、曇雨天が続き、平均気温は16.6℃と平年の14.0℃より高く推移しました。
 - 3) 1か月予報(4月14日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1ヶ月の平均気温は高くなる見込み、降水量は平年並か多い見込みです。
 - 4) ムギ類では開花から10日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があつて、気温が20～27℃の時に感染が激しくなります。
 - 5) このような気象状況は、赤かび病発生の好適条件となることから、多発することが予想されるため注意が必要です。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。薬剤は三重県農薬情報システム <https://www.nouyaku.sys.com/nouyaku/user/top/mie> で検索できます。
 - 2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出穂および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
 - 3) 開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、開花期防除の7～10日後に追加防除を行ってください。
 - 4) 追加防除を行う場合は、系統の異なる薬剤をローテーション散布し、感受性の低下を防止しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！